７　学習過程

子どもの視点で記入する　～する

教師の視点で記入する　　～させる

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 時間 | 指導上の留意点　◆評価 | 資料 |
| T1 | T2 |
| つかむ‘意識化さぐる・現状把握みつける・原因追求決める・実践意識化 | １　本時のめあてを知る。（１）自分たちの～の実態を知る。グラフ：アンケート結果を見て実態に気付く （２）めあてを知る。２　～の大切さを知る。（１）～を見る。（２）～のよさを知る。集団思考につながる指導内容に３　～で～する方法や工夫を話し合う。集団思考の場と内容（全員）意思決定の場と内容４　学習を振り返り、これから～するためのめあてをワークシートに記入し発表する。（１）自分が今後実践する　　　ことをカードに書く。（２）自分がこれから～することを発表する。　　 | ５　５　(10)2015 | ○　グラフや図に示した～を提示し、～に気付かせる。○　～を通して，食べ物の働きへの関心を高める。【○　児童の発表を聞き，大切なことを視覚的に再確認できるようにする。　　　　　　　（（○　どうすれば～なるか、～する工夫を話し合わせる。友だちの考えを自分の考えに生かせるように。）○　話し合ったことをもとに自分にあっためあてを考えさせる。○　実践しやすいよう、具体的な内容で書くように助言する。　　　　　　　　　　　　◆　～を知り，今後の生活で実践することを決めることができたか。（ワークシート・発表） | ○　～のグラフや図に示した～を提示する。子どもにとって必要感・必然性のあるものに○　赤，黄，緑の食べ物のはたらきについて補足することで，理解を促す。　○　栄養技師から専門的な話をすることで，～の大切さを理解させる。　　　　意思決定の意識化・実践化を図る* 自分なりのめ

あてがかけるように机間指導を行い、個別に指導する。* 情報が足りな

いときは、補足説明等を行う。* 具体的に実践

できる内容なのかに視点をおいて助言する。 | アンケート結果の図ICTの活用食品カード具体物ワークシート |

上段は小学校　下段は中学校